

第26回定時総会

母の日の5月9日(日)、緑が丘コミュニティセンターで第26回住区住民会議定時総会が開かれ、昨年引き続き石川靖英氏が16年度の会長に選任されました。会長から、「地域の親睦を計りながら住区の運営をしていく」との挨拶がありました。多くの来賓、地域住民の出席のもと、木村洋子氏を議長に選出し、活動報告、監査報告、新年度の役員、活動計画案、予算案を承認しました。総会終了後、懇親会が開かれ、和やかな雰囲気の中、親睦を深めました。



新常任委員挨拶

広報委員長

東野勇作

広報委員長をお引受けすることになりました。東野(つかの)です。昨年環境整備委員会の委員になったばかりで、自由が丘住区での活動経験が浅く、お役に立てるかどうかが心配です。お荷物にならないよう努めたいと思います。40年余の会社生活を終えて5年ほどになります。退職後はリサイクルめぐる推進協会のメンバーとして、ゴミヤリサイクルなどの環境問題で区との協働活動に参加するようになり、現在も続けています。私がこの街に住んで30年になりましたが、退職して初めてこの街の住みよい環境づくりに参加できました。それは正直云ってただの住民でした。すぐ隣の町に生まれた私は、就職するまでそこに住んでいた。昔の自由が丘の街は今でも記憶に残っています。広報の役割は、住区ニュース、ホームページ、各種イベントなどを

通じて住区の現況を知っていたら、できるだけの多くの皆さんに住区の活動に参加していただける環境をつくることだと考えています。でも、あまり肩に力が入らないようやりたいと思います。皆さんのご協力を心からお願いたします。

緑ヶ丘小学校 PTA会長 中村愛弓

子どもたちの元気な姿、キラキラと輝く瞳。緑ヶ丘小学校の子どもたちのそんな様子はいつでも私に勇気と元気を与えてくれます。このすばらしい子どもたちがすこやかに、そして安全に過ごす事が出来るよう心から願わずにはいられません。

子どもたちを取りまく社会状況は年々変化し、今まで想像もつかないような事件や事故が起こる中、今こそ学校、家庭、地域が一体となって、子どもたちを見守り、育んでいく必要を強く感じます。

私たち大人が垣根を越えて手をつなぐことが、『子どもたちの輝く未来』をつくっていくものだと思っています。どうか、今後とも緑ヶ丘小学校の子どもたち、そして地域のすべての子どもたちを力強く見守って頂きますようお願いいたします。

平成16年度住区住民会議役員者

- | | | | |
|-----|--------|--------------------|-------|
| 会長 | 石川靖英 | 総務委員会委員長 | 中平清明 |
| 副会長 | 木村常在 | 広報委員会委員長 | 東野勇作 |
| | 岸田 哲 | 本部会計 | 梅原良一 |
| | 横山寿美夫 | 監事 | 阿部隆彦 |
| | 藤井圭一 | | 原田昭男 |
| | 杉浦清春 | 青少年住区委員会委員長 | 山田敦子 |
| | 日下英男 | 防災住区委員会委員長 | 高橋哲男 |
| | 原 淳子 | 地域活動委員会委員長 | 松本智恵子 |
| | 山本秀代 | 環境整備委員会委員長 | 矢野仁巳 |
| 参 与 | 福田正克 | (特別委員会委員長) | |
| | 千葉泰男 | 住区センター管理運営委員会 | 柳田 香 |
| | 栗山鈴太郎 | 宮前小学校開放運営委員会 | 比護 孝 |
| | 木村洋子 | 緑ヶ丘小学校開放運営委員会 | 石井 登 |
| | 栗山芳士 | カルテ委員会 | 木村常在 |
| | 橋本 茂 | IT委員会 | 木村常在 |
| | 平井泰男 | | |
| | 渡辺靖和 | | |
| | 寿松木源太郎 | | |
| | 石田裕容 | 学校・行政関係人事異動 | |
| | 鹿毛雅子 | 小林光男 宮前小学校教頭 | |
| | | 堀 利光 第十中学校教頭 | |
| | | 石田裕容 西部地区サービズ事務所所長 | |

まちの表情 シリーズVI

「残したい住区の風景」

自由が丘駅正面口より北西に500米程、目黒通り横(自由が丘3・1・1)高台座付丸彫地蔵像塔がひっそりと立っているのをご存知ですか。このあたり江戸時代以前は馬の牧場、江戸時代より大正時代までは草深い農村で竹やぶが多く田んぼや湿地にはさき草が自生していたそうです。遠く江戸から病氣平癒祈願などで九品仏浄真寺へ参詣する人たちのための道標でした。元禄のころには近くの寺郷あたり九品仏詣で立寄る茶店や念仏信者の講宿も軒並みにあったそうです。今、めまぐるしく移り変わりゆくまち。時には地蔵像前に足を止め遠き昔を偲んでみては如何でしょうか。そして未来百年後の自由が丘住区がどんなまちになっているか想像してみても面白いと思います。ともかく時代は移って行っても、自然と共存しつつ人にやさしい個性あるまちとしてますます人気の自由が丘住区であってほしいものです。



滴

西部地区サービズ事務所長に就任して以来、町会・自治会や住区住民会議の総会、桜まつり、地域懇談会など様々な地区行事に参加させていただきました。

就任前から西部地区は地域の活動が活発で大変活気のある地区と聞いていましたが、それを肌で感じる事ができました。ところで、このところ渋谷駅での発砲事件や田園調布駅での傷害事件など、身近な場所での事件が相次いで起きており、区としても生活安全対策を強化しているところですが、地域の安全を確保するためには、日頃から地域の皆さんのコミュニティ形成が欠かせません。

自由が丘は、ある民間会社の行ったアンケート調査で、「住んでみたい街(駅)」の1位になり、首都圏在住者の憧れの土地となっています。これからも、「住んでやっぱり良かった」と思える街を目指していくために、地域の皆さんと力を合わせていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いたします。

西部地区サービズ事務所長
石田 裕容

